

グループ担任制について

『グループ担任制』とは、

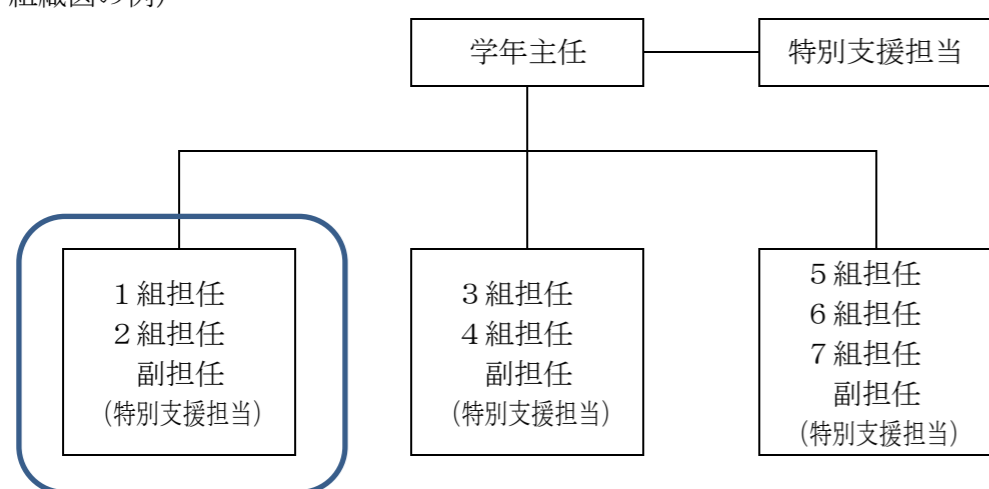
- ①学年を小グループに分割して集中的にグループ内の生徒一人ひとりの状況を把握する。
- ②グループ内の教科担当となって生徒との接点を増やし、信頼関係を築き上げていく。

ことを目的とした学校内部のシステム改正です。

1 本校が実施しようとしている『グループ担任制』について

本校が今年度から実施する『グループ担任制』は、内部的なシステム改正となります。

(学年組織図の例)



【昨年度まで】 副担任は、グループ内の学級の教科担当となることを優先する。
学級担任の教科担当については特に制限なし。
(例：上枠の場合) 1組担任が2組の教科担任に必ずなる必要はない。
3組～7組の教科担任となる場合がある。

担当グループ内の生徒のみなさんと担当職員が接する時間をより増やすために

【今年度から】 副担任は、グループ内の学級の教科担当となることを優先する。
学級担任も、グループ内の学級の教科担当となることを優先する。
(例：上枠の場合) 1組担任が2組の教科担任となる。

2 教科指導以外の取り組み

複数の職員の手で生徒のみなさんの状況把握を高めるために、次のような取り組みも実施していくことを考えております。

学級担任以外のグループ内職員が、学活や給食指導にあたる日の設定

(例) 1組の担任が2組の学級指導をする。
2組の担任が1組の給食指導をする。

基本的には従来通り、学活、給食は学級担任が教室での指導にあたりますが、授業以外での生徒一人ひとりの状況を知るために、グループ内の職員が学級指導を行うときがあります。

3 生徒のみなさんが相談したいことがあるとき

従来通り学級担任・副担任に相談ができます。
また、学級担任以外の学年職員にも相談することもできます。
グループ内の職員と学級の接点を増やすことで、生徒の相談相手の選択肢の幅を広げます。
※学年職員以外にも、保健室（養護教諭）や職員室（教務主任）に相談することもできます。

4 ご家庭からご質問、ご相談があるとき

中学校へのご質問、ご相談がございましたら、学級担任までご連絡ください。
また、出張等で学級担任が不在の場合も、グループ内の職員でよろしければ対応いたします。

5 最後に

グループ担任制は1、2学年で実施いたします。
3学年につきましては、進路指導への影響を踏まえ固定担任制のままいたします。
今後も本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。